

fig4. 8. 4 清澄庭園の視覚領域の分類  
s = 1 : 25000

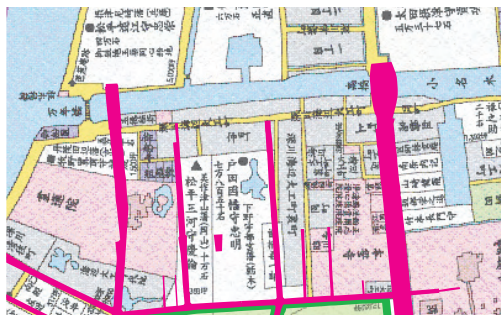


fig4. 8. 5 江戸期と視覚領域  
1 : 10000

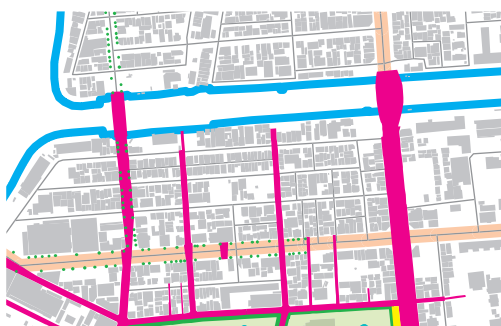


fig4. 8. 6 現在と視覚領域  
1 : 10000



fig4. 8. 7  
[ 公園に向かう道路からの  
緑の見え



fig4. 8. 8  
公園に面した道路



fig4. 8. 9  
公園に面した道路での  
あふれ出し

## ■視覚領域の類型

清澄庭園の視覚領域は、右図のように分けられる。

- 場所1 : e. 長短の線分の反復
- 場所2 : c. 長い線分の反復
- 場所3 : c. 長い線分の反復
- 場所4 : f. 点在
- 場所5 : c. 長い線分の反復
- 場所6 : b. 貫通

○場所1 : a. 太い線分

### 分析A

河川、幹線道路

江戸期の北側の河川まで続く街路パターンに、幹線道路ができ宅地細分化のための道路ができることで、視覚領域に長短ができた。

### 分析B

公園側: フェンス、塀(清澄庭園) / 植え込み(清澄公園)  
周辺: 住宅地、あふれ出し

公園と周辺でつながりは生まれていない。公園に隣接する道路には、駐車を禁止するためのカラーコーンが置かれ、住宅の前にはあふれ出しが多いなど、奥まった場所になっているように感じる。

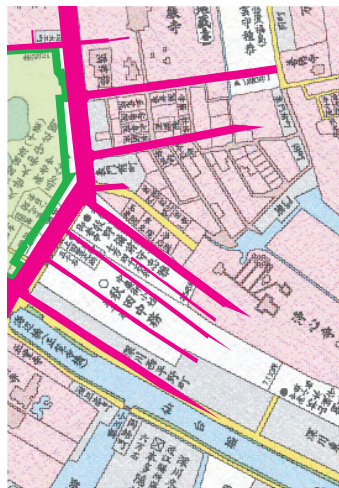


fig4. 8. 10 江戸期と視覚領域  
1 : 10000



fig4. 8. 11 現在と視覚領域  
1 : 10000

## ○場所 2 : c. 長い線分の反復

### 分析 A

#### 河川による街路パターンの変化

川に沿って道路が曲がることで街路パターンが変化し、視覚領域が途切れている。

### 分析 B

公園：宅地が隣接

周辺：小公園、幹線道路

公園に隣接する場所に幹線道路に面して小広場が設けられ、公園の存在をアピールしている。



fig4. 8. 12  
公園に向かう道路からの  
緑の見え



fig4. 8. 13  
公園に隣接する建物越しの緑  
の見え



fig4. 8. 13  
公園に隣接した小広場

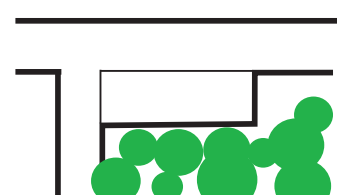


fig4. 8. 15  
公園に隣接した広場

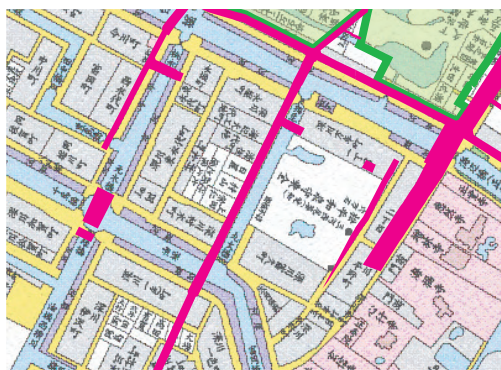


fig4. 11. 16  
江戸期と視覚領域  
1 : 10000

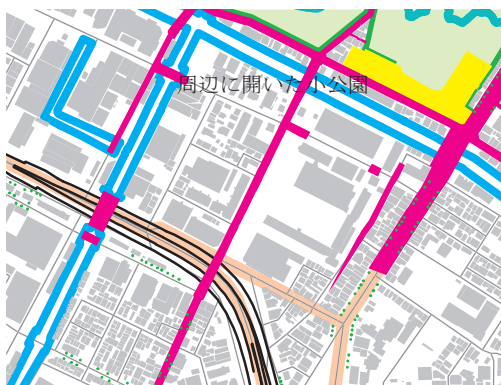


fig4. 11. 17  
現在と視覚領域  
1 : 10000

## ○場所 3 : c. 長い線分の反復

### 分析 A

境界なし

### 分析 B

公園：公園の一部が小公園として開放されている

周辺：川

公園の一部が周囲に開いた小公園となっている。

## ○場所 4 : f. 点在

橋の上から公園の  
緑が見える。

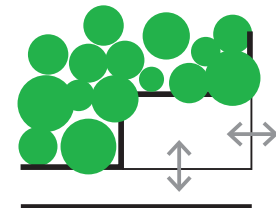


fig4. 11. 20  
公園の一部が周囲に開いた広場



fig4. 11. 18  
公園に隣接する道路と  
小公園



fig4. 11. 19  
橋から見える公園の緑

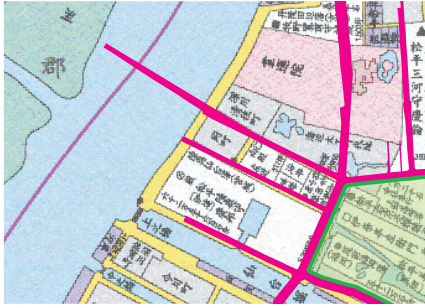


fig4. 11. 21  
江戸期と視覚領域  
1 : 15000



fig4. 11. 22  
現在と視覚領域  
1 : 15000

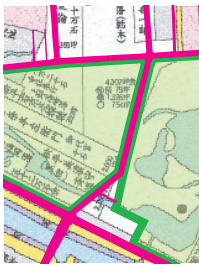


fig4. 11. 25  
江戸期と視覚領域  
1 : 15000

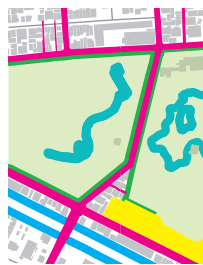


fig4. 11. 26  
現在と視覚領域  
1 : 15000



fig4. 11. 27  
公園を貫通する道路で  
の駐車

## ○場所 5 : c. 長い線分の反復

### 分析 A

境界なし

### 分析 B

公園：植え込み

周辺：マンションなど

公園と周辺都市との繋がりはない。



fig4. 11. 23  
公園へ向かう道路からの  
緑の見え



fig4. 11. 24  
公園に面する道路

## ○場所 6 : b. 貫通

### 分析 A

境界なし

### 分析 B

公園：植え込み

周辺：駐車

公園を道路が貫通しており、駐車スペースとして使われている。



小括

清澄庭園の視覚領域の境界をまとめると以下ようになる。

場所	視覚領域の類型	江戸期の土地利用	視覚領域の境界
1	e. 長短の線分の反復	寺社、武家地	河川、幹線道路
2	c. 長い線分の反復	寺社、武家地	街路パターンの変化（河川）
3	c. 長い線分の連	町屋	なし
4	f. 点在	町屋	なし
5	c. 長い線分の連	武家地	なし
6	b. 貫通	武家屋敷の一部	なし

fig. 4. 11. 27  
清澄庭園の  
視覚領域の境界一覧

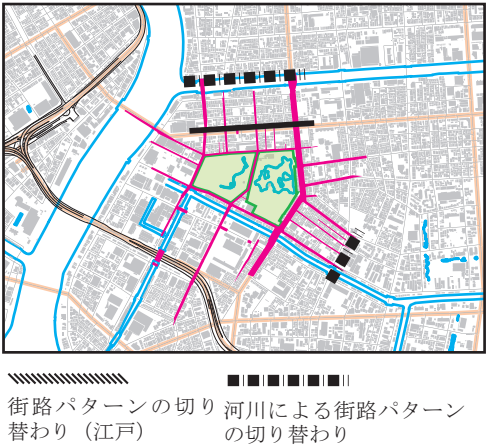
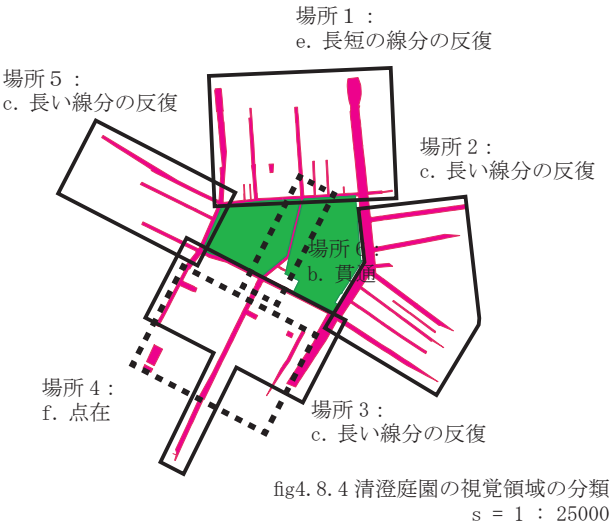


fig. 4. 11. 28  
視覚領域と境界  
1 : 30000

道が整えられているので、視覚領域に広がりがある。



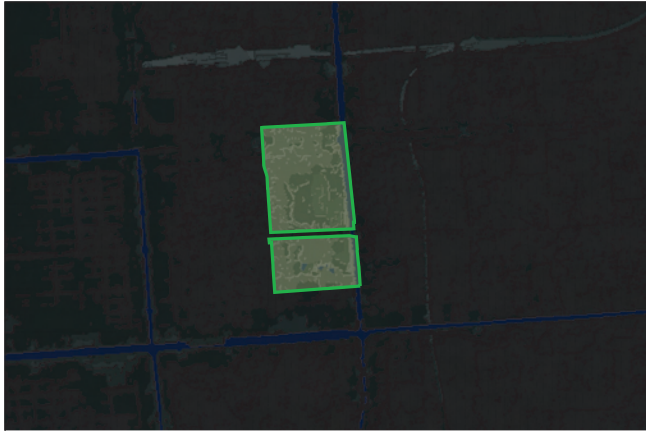


fig. 4. 12. 1 猿江公園と地形  
1 : 25000



## 猿江公園

### ■地形との関係

低地に位置し、地形の変化はない。

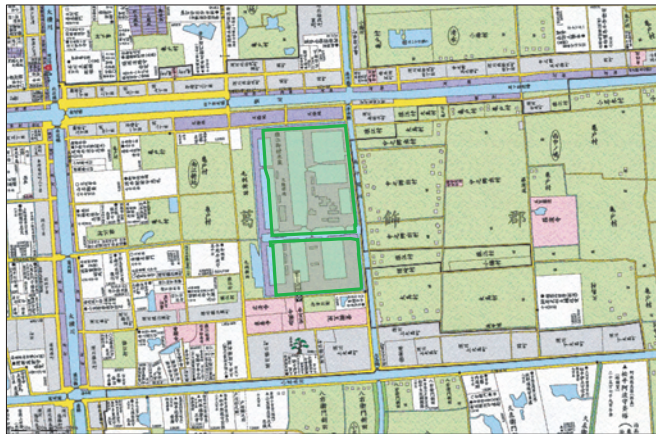


fig. 4. 12. 2 江戸時代の猿江公園周辺  
1 : 25000



### ■江戸時代の猿江公園周辺

猿江公園となる場所は、貯木場であった。周辺は宅地化されておらず農地であるが、現在の街路パターンの骨格となる部分は既にできていた。

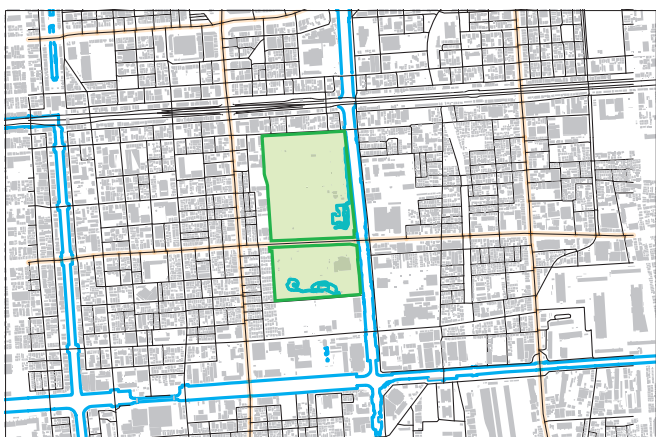


fig. 4. 12. 3 現在の猿江公園周辺  
1 : 25000



### ■現在の猿江公園周辺

周辺は宅地化された。公園を貫通する幹線道路、北側には高速道路がつくられた。